

令和3年7月5日

静岡県知事 川勝 平太 様

ふじのくに県民クラブ
会 長 佐野 愛

豪雨災害に対する要望書

梅雨前線の影響により7月1日から降り続いた雨は、県内各地で記録的な雨量となり、7月3日、熱海市で大規模な土石流災害を引き起こしたほか、沼津市の黄瀬川では民家の流失や黄瀬川大橋の落橋、さらに富士市など県東部で広範囲な浸水被害が発生した。

県はいち早く災害対策本部を立ち上げ、国や市、さらに他県とも連携して対応を進めているが、降り続く雨の中、多くの県民がいまだ不安な中で過ごしている。

命を守る危機管理は県政の最重要テーマであり、県は県民に寄り添い、被害の回復に向けた取組を進めることを強く求め、要望書を提出する。

記

1. 人命第一で安否不明者の捜索等を進めるとともに、被害の全容をできるだけ早く明らかにすること。
2. 県管理の交通、生活インフラの復旧を急ぐとともに、市町管理事業に関して必要な支援を講じること。
3. コロナ禍での避難所運営のほか、自宅避難を余儀なくされている住民へのライフライン確保など市町を支援すること。
4. 災害廃棄物の処理主体である市に対し必要な支援を行うこと。
5. 流木による漁業や、観光業などへの影響を適切に把握し、必要な対策を進めること。
6. 河川の浚渫など事前防災を強化すること。
7. ハザードマップの再点検やサイボスレーダーの周知促進、マイタイムラインの普及などわが身を守る取り組みを拡充すること。
8. 熱海市の土石流について原因究明を図ること。

以上